

# 濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1096

「濟生会交差点」

就寝中に血液透析を、  
自分らしい人生を考える



10

October 2020

社会福祉法人

恩賜  
財団

濟生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

# 濟生会の 不易流行論

145

理事長 炭谷 茂  
Shigeru Sumitani

## 新型コロナ差別

**15** 年くらい前に部落解放同盟の要職にあったAから「今夜、食事を一緒にできないか」と誘われたので、居酒屋に出かけた。すると美しい若い女性と同席していた。初対面だったが、私と専門分野が同じだったので、3人の話は盛り上がった。

女性は、聡明でよく勉強していた。しかし、どこか寂しそうに心が閉ざされているようで、Aは、ずいぶん気を使っていた。その理由は、後日分かった。結婚を約束した男性がいたが、彼女が被差別部落出身だったことで男性の親族が反対し、別れざるを得なかった。心に大きな



傷を負い、故郷を去って間もないころだった。その後彼女は、継続して近況を伝えてくれた。全国各地で暮らしながら経験を重ね、今では社会的に評価される仕事に従事している。これは、彼女の努力の賜物だが、受けた心のダメージは、生涯癒やされることはないだろう。

部落差別は、結婚、就職など広い範囲で今でも発生する。自殺という悲惨な結末となることもある。

日本では差別問題は、他に性年齢、障害、人種など多分野で生じる。疾病についてもハンセン病、エイズ、B型肝炎、結核などで経験してきたが、今回の新型コロナも同様である。

☆ ☆

コロナの感染者は、地域や職場で排除された結果、時に転居や退職に追い込まれる。感染者や家族は、病気と同時に差別と闘わねばならない。

コロナ差別は、他の差別と同様に深刻な人権侵害で共通するが、異なる点がある。

①全国的に広がっている

②長期的に及ぶと予想される

③加害者には、間違ったことをしている意識が薄い人がいる

④当事者以外の医療従事者やその家族が差別を受けている

などで、他の差別と違った特徴がある。

コロナ差別は、感染の不安から生じている。感染したら差別を受けるといふ心配から、不安は倍化している。

このような状況下でコロナ差別を解消するためにはどうすべきだろうか。

第1は、新型コロナに関する正しい知識や行動について啓発が必要だ。国や自治体、メディアの役割が大きい。

第2は、差別の程度は、人と人との距離に相関するので、日常的なつながりを強化することだ。強ければ、非常時こそ助け合う。ソーシャルインクルージョンの真価が試される。

第3は、差別された人への救済措置である。被害者の相談や加害者への措置などである。特にインターネットによる差別への対策が急務だ。

これらの諸点について濟生会も取り組んでいかねばならない。

不易流行（ふえぎりゅうこう）：不易は永遠性、流行はその時々の新風をいい、芭蕉が俳諧思想を表現するとき用いた。濟生会は長い歴史で醸成された価値を大切に、時代の変化に適応していかなければならない。

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN

## ゴクゴクすっきり乳酸菌

「プラズマ乳酸菌」が1,000億個配合された、爽やかなレモンの果汁感と、すっきりとした甘さのレモンウォーター。低カロリーでゴクゴク飲んで、渴いたからだにすっと浸みわたります。毎日の体調管理、コツコツ続けましょう。iMUSEも、きっと力になれるはず。果汁1%

スポーツ中の  
水分補給と  
体調管理に



## プラズマ乳酸菌とは



キリン・小岩井乳業・協和発酵バイオが共同研究を行っている乳酸菌です。国内外の大学・研究機関の協力のもとこれまで多数の論文・学会発表を行っています。

こんな方にオススメです

- 毎日元気で過ごしたい
- 負けない自分を作りたい
- 日々の体調管理をしっかり行いたい
- 家族の大切なシーンを応援したい



キリンホールディングス株式会社  
藤原 大介 博士

C O N T E N T S

NEWSな濟生人  
障がい者にも  
「自立」「自由」「未来」を!

〈東京〉  
中央病院

ナーシングアシスタント(看護補助者) 事務部人事課 障害者支援相談員  
長山 直さん + 磯崎恵午さん

06

## 濟生会交差点

《就寝中に血液透析を》オーバーナイト血液療法でワークライフバランスを実現／《自分らしい人生を考える》幸せに年を重ねるため対話を促すノートを作成／《住民参加の地域包括ケア》濟生会地域包括ケア連携士が住民参加で進めるまちづくり／《運動療法で健康を支援》22年前に病院併設型の運動療法施設、多彩なメニューで「運動」を習慣に

10

## 新型コロナウイルスとの戦いの記録

### 各施設から

福井県濟生会病院／〈新潟〉三条病院／〈三重〉明和病院／福岡総合病院／滋賀県病院／〈岡山〉吉備病院／〈石川〉金沢病院／〈三重〉松阪総合病院／〈神奈川〉若草病院

20

## 巻頭コラム 濟生会の不易流行論

新型コロナ差別 理事長 炭谷 茂

03

## 10月のたよりが聞こえる — 子規庵の秋

表紙のことば 久保田眞由美

05

## この人 鈴木 杏

26

口福につぼん 吉井省一

28

だれでもかんたん てづくりおもちゃ  
いまいみさ

30

国際交流 16

災害対応 18

TOPICS 32

載々、大雑報 48

題字協力：石飛博光

アートディレクション：  
OVO INTERNATIONAL



## 10月のたよりが聞こえる

## 子規庵の秋

近年、俳句がブームになっていく。高校別対抗戦の俳句甲子園はあるし、芸能人が続々登場して俳句を詠むテレビのエンターテインメント番組も好調だ。愛媛県松山市

を拠点に活躍する俳人・夏井いつき先生の、齒に衣着せぬ添削ぶりが人氣拡大に貢献している。松山と言えば、正岡子規の出身地。言わずと知れた俳句界の巨人だが、

その句をめぐって傑作か凡作かで子規の死後、論争が起きたことがある。「鶏頭の十四五本もありぬべし」庭のケイトウが咲いた、確か十四、五本はあったはずだ、といった意味。結核で床に伏したままの子規が明治33(1900)年、東京・根岸の子規庵で開いた句会でケイトウを詠んだ九句のうちの一句だ。このケイトウは、森鷗外から贈られたと伝わっている。同じ松山出身で一番弟子の高浜虚

子はしかし、評価していない。逆に、同じく弟子で歌人の長塚節らは高く評価し、論争は俳壇をにぎわした。秋の季語となっているケイトウが咲いて、それが十四、五本はあったはず。そう言われても、それが何？とツツコミたくはなるし、花がケイトウである必然性は確かに、ない。子規には「いくたびも雪の深さを尋ねけり」という、ついつい家人に積雪の具合を尋ねてしまう冬の句もある。起き上がれないもどかしさ、悔しさをたたえた傑作だが、ケイトウの句も臥せったままの子規の視線で眺めることで、衰えていく己と鮮やかに咲く花の対比が強く浮かびあがる、との主張にも一理ある。ケイトウはインド、熱帯アジア原産。日本には天平時代に中国を経由し薬用として伝わった。安土桃山時代から観賞用に代わり、江戸時代には多くの園芸種が生まれている。名前の由来はニワトリのトサカに似ているからで、中国では鶏冠。このほうが鶏頭よりはしっくりくる。鶏冠と鶏頭。どっちがふさわしいか。子規忌の9月19日、鶏頭論争の元となった現場で確かめようとしたら、新型コロナで休館だった。もうイヤ!

### 表紙のことば

## 毛糸で編んだその花は……おお鶏頭!

表紙イラスト 久保田眞由美 Mayumi Kubota

鮮やかな色のふさふさとした花を咲かせるケイトウ。子どもの頃「あの花の名前は何?」「ケイトウ」と教えられ、「毛糸——暖かそうなその姿にぴったりの名前」と覚えてしまった記憶があります。

「鶏頭」であると気付くまでには長い時間がかかりました。ケイトウの花を見かけると冬の編み物を始める合図。私の中ではやっぱり「毛糸」を思い出させるケイトウの花です。



「社会的に弱い立場にある人も含むすべての人を地域社会で受け入れ、共に生きていく」。済生会はこれを「ソーシャルインクルージョン」と呼び、医療や福祉を通じて行なうその活動には、障害者、刑務所出所者、外国人など様々な済生会職員も関わっています。(東京)中央病院の看護補助者の長山直さん、障害者支援相談員の磯崎恵午さんと一緒に、障害者と健常者が共に働くためには何が必要か考えました。

(東京・中央病院 済生記者 佐藤弘恵)



## 障がい者にも「自立」「自由」「未来」を!

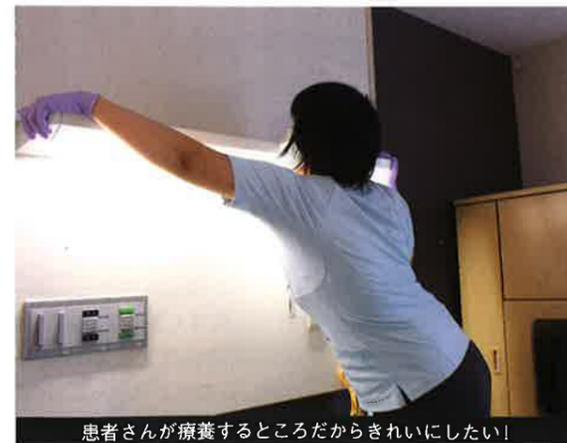
(東京)中央病院 ナーシングアシスタント(看護補助者)

# 長山直さん

NEWSな済生人 Interview

佐藤 中央病院には知的障がいのある7人の職員が、看護補助業務を行なうナーシングアシスタント(NA)として勤務。その一人、長山さんは糖尿病患者が入院する病棟で働いています。どのような仕事をしていますか?

長山 病棟の清掃業務がメインです。特に患者さんが退院した後の病室は、隅々まで掃除して



患者さんが療養するところだからきれいにしたい!

ていた。「掃除しなきゃ!」と思ったんです。壁と床の境目の汚れとかも気になっちゃって。細かい作業が好きで、ちよつとした汚れも放っておけないんです。磯崎 長山さんの同僚で同じく知的障がいのあるNAも「濡れていると患者さんが困

## 「今」ではなく彼らの「未来」を見据えた仕事で働くことの喜びを

「るだろうから……」と聞いて、洗面台にあるハンドソープの容器まで自発的に掃除してくれているんですよ。

佐藤 皆さん、いろいろ工夫して働いているんですね。

磯崎 退院や病室移動に伴う清掃は、件数やタイミングも毎日異なりますが、各自で段取りを考えているんだよね?

長山 午前中の業務を行ないながら、「午

事務部人事課 障害者支援相談員

# 磯崎恵午さん

後に退院する部屋の清掃をどうしようかと考えています。

## ジョブコーチが仕事と生活の両面をサポート

佐藤 彼女たちを支援する磯崎さんはどのような仕事を?

磯崎 私たちジョブコーチは、「職場適応援助者」といって、障がい者でも職場に適



長山さんは、女子日本代表としても活躍(写真提供:スペシャルオリンピックス日本)

応して働けるよう支援します。一人ひとりの障害に合わせて業務を調整したり、体調や生活リズムに気を配ったりと、仕事や生活面も含めてサポートします。当院には私を含め2人のジョブコーチがいます。

佐藤 長山さんの作業スケジュールは磯崎さんが作るのですか?

磯崎 はい。NAのリーダーと話し合い、障がい者でもできる仕事と判断したものをまとめました。毎日、スケジュールに沿って仕事が出てくるかどうかを見えています。佐藤 体調管理も磯崎さんが?

磯崎 重い障がいや持病などで、業務や体

※新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビューは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のみマスクを外しています

## 障がい者と仕事のマッチングには まずは業務を洗い出して 細分化から

合いの内容も理解する必要があるので、業務を切り出すのがとても難しいんです。佐藤さんの所属先の広報室で、知的障がい者に任せられる業務は思い当たりませんか？

磯崎 院内の掲示物の貼り換えなら、貼る物も場所もある程度決まっているのでお願いできそうです。あまり多くはないですが、磯崎 そうした場合は、午前中は医事課で働いて、午後から広報室で働いてもらうといったやり方も考えられます。

佐藤 ほかに看護業務なら、検査の付き添いをお願いできると看護師の負担が減ります。

磯崎 そうですね。患者さんを検査室に連れて行くのは安全面から難しいでしょうが、検査が終わるまで患者さんに付き添っても



仕事充実しているから自然と笑顔になれる



同じ障がい者雇用の仲間の武田さんと三井さん



医療従事者への応援メッセージの前で

調に負担や支障がないかを注視します。幸い、ここは病院ですから診察に同席したり、

院内で主治医とすれ違った際に体調の確認をしたりもしています。

佐藤 これだけたくさんの業務をこなすとなると、毎日大変そう……。

長山 高校時代からバスケットボールをやっていた、身体を動かすのは大好きなので大丈夫です！

磯崎 長山さんは「スペシャルオリンピックス」という知的障がい者のスポーツ大会に出場。2019年3月のアブダビ大会では、バスケット日本代表に選ばれ、銅メダルを獲得しました。

佐藤 えっ、すごい！ポジションは？

長山 ゴール下を守るセンターです。暑い日も体育館で練習しているので、体力には自信があります。

佐藤 頼もしいけど、無理しないでね。ところで障がい者雇用は、差別や偏見がいまに残っている印象があります。

磯崎 2016年に障害者差別解消法が制定。①不当な差別的取り扱いの禁止②合理的配慮の提供——の二つが掲げられました。佐藤 「不当な取り扱い」とは？

磯崎 例えば、視覚障がい者に「案内が難しいから来院しないでください」と断るなど、正当な理由なく差別することです。

佐藤 「合理的な配慮」は？

磯崎 障がい者にとつてのバリア（障壁）をできる限り取り除こうとする考えです。聴覚障がい者が来院したら、筆談で対応する——。ジョブコーチは、障がいのある職員に仕事を手配する際、能力に合った仕事を

を探したり、その人ができるように仕事の一部を切り出したりして配慮しています。

佐藤 障がい者と共に生活する上で大切な考え方ですね。

磯崎 ほかに、障がいの有無にかかわらず多くの人が使いやすい製品やサービスを設計する「ユニバーサルデザイン」が重要です。例えば、病院の入り口の段差をなくすと、車いすの人など誰でも利用しやすくなります。しかし、残念ながら当院はこの対応がまだ十分とは言えません。

佐藤 どういうところが？

磯崎 例えば、職員用レストランの「結果を張れ」という張り紙をご存じですか？

佐藤 はい、お互い距離を保ってコロナを防ごうと呼びかける掲示ですよ。

磯崎 そうです。しかし「結果」という言葉は分かりづらい……。知的障がいがある人には、理解が難しいと思います。こうした標語も「誰でも理解できる！」という視点が重要です。

佐藤 なるほど、そうですね。ところで、障がい者雇用の向上に向けた課題は？

磯崎 一つは本人と仕事内容のマッチングです。より幅広い業務を障がい者に割り当てたいのですが……なかなか簡単ではありません。

佐藤 というところ？

磯崎 例えば、知的障がい者は事務職を希望する人もいますが、そのためには、PCやタブレット端末などの操作スキルが求められます。会議の議事録をつくるには話し

来」では、例えば結婚や育児をして老後を楽しむ。障がい者も健常者と同じように未来を想像してもいいと思います。

佐藤 長山さん、ここで働いてみてどう？

長山 楽しいです！！

佐藤 未来まで見通す……。その第一歩となる自立、仕事も視野が広がって良い影響がありそうですね。

らえたら看護師の負担は減るかもしれません。

佐藤 どのような仕事を任せるか……。業務を洗い出す必要があります。仕事を細分化し分け合う発想が大切ですね。それができれば、任せられる仕事、がもつと増えて、障がい者も仕事にやりがいを感じると思っています。

障がい者も  
未来を創造してほしい

佐藤 磯崎さんが目指す支援とは？

磯崎 障がい者が自立し自由に生きられる未来を目指す社会になってほしいと思っています。

佐藤 未来を目指す？

磯崎 まずは、働いてお金を稼ぎ「自立」する。自立できたら「自由」に興味にも励み、その先の「未来」



聞き手の佐藤さん

### 取材を終えて

長山さんの作業スケジュールを見てビックリ!! 清掃や食事の下膳など、1日にこなす業務は約40種類もありました。それでも、「きれいな病院だから、ここで働きたい」と思っていたんです」と話していた長

山さん。細かいところにもよく気が付きます。おかげで患者さんは、清潔な病院で気持ちよく療養生活を送れる。長山さんは欠かさないチームの一員です。(佐藤弘恵)

※広報室は、公的な用字として「障害」を、私的な用字として「障がい」の両方を使っています。

自分らしい  
人生を考える

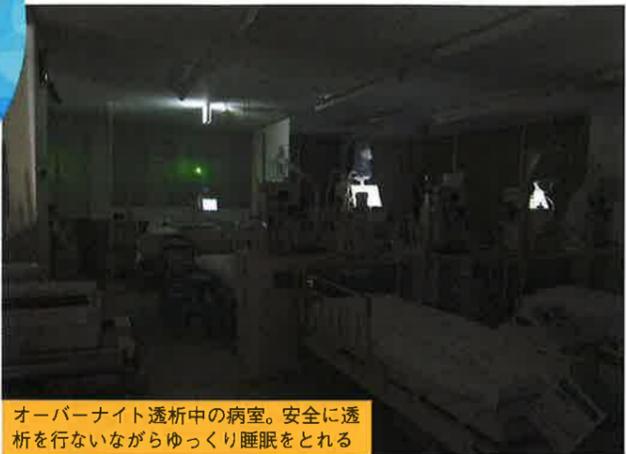
〈岩手〉  
北上済生会病院  
副院長  
柴内一夫

北上市発行の「わたしのきぼうノート」は、人生を回想し、ライフプランニングやエンディ

ングを考えるのに役立ち、地域包括ケアのガイドブックともなるノートです。2017年10月

## 幸せに年を重ねるため 対話を促すノートを作成

に市民と医療・介護の専門職や行政が、療養生活における意思決定支援を考える「心づもり勉強会」の中で、本人の意向を話し合うきっかけとなるノート作りについて提案されたのが発端です。当院



オーバーナイト透析中の病室。安全に透析を行ないながらゆっくり睡眠をとれる



透析患者さんは看護師が夜通し見守る

が必要か協議。照明や物音への配慮、プライバシーを守りながらも十分に観察できるベッドの配置、仕切りの位置など、環境面も見直しました。

患者さん個々の  
その人らしい生活を支える  
患者さんからは「治療で疲れて帰ることがなくなり、

子どもから「お父さん顔色が良くなったね」と言われたよ」「フルタイムで働けるようになった」「自由な時間が増えた」などうれしい言葉をよく伺います。  
オーバーナイト透析は、一度に12人まで受け入れ可能で、現在4人(男女各2人)の患者さんが利用。日勤の働き盛りの人、残業が多い人、仕事と家事を両立している人、就職活動中の人と、境遇はさまざまです。  
「オーバーナイト血液透析療

法」をもっと多くの患者さんに周知して、ワークライフバランスや生活の質の向上につなげていきます。

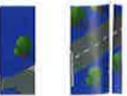
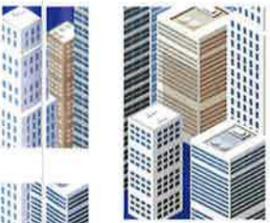


透析治療に使用する機器の点検は欠かせない



SAISEIKAI JUNCTION

済生会にはたくさんの道があります。道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。「笑顔」です。



不全の患者には欠かせない治療ですが、心身両面の負担が大きいため、「治療予定が決まっているので残業ができず、職場に引け目を感じる」「家族と一緒に夕食がとれない」などの葛藤を抱えている人も少なくありません。  
一般的な人工透析は週3回、日中から夜間にかけて4〜6時間かかります。腎



透析センターのスタッフ。前列右が森医師

治療面では、患者さんの入室から退室までの流れをシミュレーションし、安全に透析を行ないながらゆっくり睡眠をとってもらうためには何

ができています。  
担当の確保が一番の課題でした。看護部長との面談や事務部との協議を重ね、オーバーナイト透析は午後9時に出勤する新たな勤務時間帯を設定。家族の理解もあり、家事や子どもとの世話を終えた後に安心して夜勤ができています。

に着任したばかりの森篤史医師から「将来的にオーバーナイト透析を始めるつもり」と言われ、幼い子どもがいるため夜勤は難しいと思っていました。  
そうした不安な気持ちのまま、先進的に取り組む佐賀県の病院を参考にしながら、1年ほど前から具体的な準備を開始。私も含め、子育て中の看護師が半数を占める人員体制のため、夜勤

就寝中に  
血液透析を

長崎病院  
看護師  
泉久美子



長崎病院は、深夜から未明にかけての睡眠時間を利用して行なう「オーバーナイト血液透析療法」

を4月から開始、長崎県内で初めての取り組みです。毎週月・水・金曜日の午後10時から午前6時の8時間で実施します。長い時間をかけて透析することでより多くの老廃物を除去でき、体への負担も軽減されます。寝ている間に終わるので、体感的に時間を短く感じる患者さんもあります。

## オーバーナイト血液療法で ワークライフバランスを実現

オーバーナイト透析は、そんな患者さんの負担を減らし、仕事や家族との時間を犠牲にするこ

を向上させられます。  
勤務体系や環境面の見直しで  
看護師も仕事と育児を両立  
筆者は3年前に、透析室の再開に伴い配属。当時、腎臓内科

# 済生会地域包括ケア連携士が 住民参加で進める まちづくり

## 住民参加の 地域包括ケア

〈福岡〉  
飯塚嘉穂病院  
地域医療連携室  
濱崎妃沙子



地域医療連携室のスタッフ（右端が筆者、中央は山田明地域医療支援センター長）

飯塚嘉穂病院がある飯塚保健医療圏では、2016年から「5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会」を設置しています。2

対話を通して自分の考えが整理できると、いろいろな気づきが生じ、家族など大切な人にそれを伝えることも可能になります。そうした対話を促すことが

ノートの一歩の目的です。実際に、疎遠だった母娘がノートをきっかけにお互いをわかり合え、幸せな最期を迎えられた事例もありました。

身近な人と、「心づもり」を話し合うことが、地域の文化となるのは長い道のりとなるでしょう。しかし、ノートの活用を主導する星野彰・岩手県立中部

病院副院長（緩和医療医）、市民有志、医療や介護の専門職、北上市長寿介護課の職員等の仲間とともに、その道を歩んでいきたいと考えています。

が運営する北上市在宅医療介護連携支援センターが作成に携わりました。当センターは2016年2月に開設。センター長の筆者を含めスタッフは4人。医療・介護の相談に対応するほか、市内施設の情報冊子や入退院支援ハンドブックの発行、研修会や協議会の開催、ホームページ運営などを行っています。

ノートの作成にあたって医療者の立場からは、終末期の意思決定を主なテーマに想定していましたが、しかし、市民から「自分の死についてノートに書くことに抵抗を感じる」との意見が寄せられました。そこで誰もが取り組みやすいノート作りを目指した打ち合わせを重ね、Life is for living（人生は生きるためにある）の

視点を備えた、自分らしく幸せに年を重ねる「心づもり」を大切な人と話し合うための「ノート」を2018年12月に発行しました。

### 「心づもり」の対話を 地域の文化に

ノートには、介護が必要になったときにしてほしい支援、最期の時が近づいたときの暮らし方のほか、名前の由来や学生時代のことなど、「わたしの生きてきた道」を記入する欄もあります。

現在は、勉強会の開催を通じて「わたしのきぼうノート」の普及に努めています。勉強会は、市内の専門職と市民がともに学び合う広域型と、各地区に向いて市民対象に行なう地域型の二つ。後者では数人のグループに分かれ、参加した市民に実際に記入してもらいます。最初は硬かった参加者の表情も、ノートを囲んで話し合ううちに生き生きと変わってきます。



在宅医療介護連携支援センターは高齢者が地域で暮らす支援拠点として活動



心づもり勉強会。参加者も生き生きとした表情に



専門職種と市民がともに学び合う広域型心づもり勉強会



地域に向いて行なう心づもり勉強会で講演する星野彰医師

市1町を五つのブロックに分け、それぞれに拠点病院を配置。当院はその一つを任せ、筆者を含めた3人の済生会地域包括ケア連携士が中心となって、会員の企画・運営、地域課題の解決に向けた議論をしています。



災害研修（令和2年2月）で「SNSを使用した情報共有システム」を立ち上げ



勉強会で緩和ケア科の荒木貢士医師が講義

### 課題は「施設での看取り」 勉強会・病院実習を実施

看取りをテーマに勉強会を重ねる中で、「施設での看取りが増えているが、教育体制がなく不安。医療面の相談先も

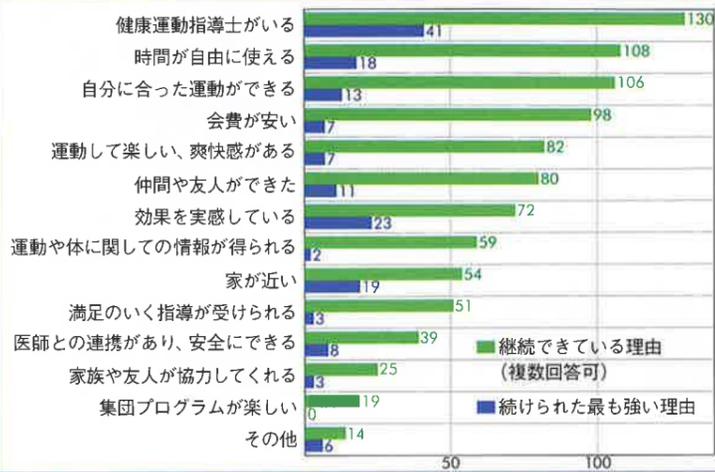
ない」との課題が出てきました。そこで、連携士が中心となり「医療相談窓口なし」ホットライン」を開設。相談の4割は看取りで、医療費や地域連携などの内容も寄せられています。その声に応え「施設での看取

りに関する勉強会」を実施、延べ100人の施設職員が参加しています。「病院で実習したい」との要望もあり、当院緩和ケアの医師や認定看護師などと協働し、特養の職員20人を受け入れました。看取り未経験者は「看



14人の健康運動指導士

継続できている理由・続けてこられた最大の理由



プールでストレッチ運動



高齢者向けに、脳の活性化や転倒予防の筋力トレーニング

プログラムを提供していること。またヨガや水泳など、各スタッフが得意分野を生かした、多彩なプログラムを展開することも強みです。

運動はとにかく継続してもらうことが重要。そのために身体状況や目的、モチベーションに応じた選択肢を豊富に用意し、個人に合わせた働きかけを大切にしていきます。そして、本人が効果を実感できた時、スタッフ

や仲間と良いコミュニケーションが築けた時など、楽しさを覚えることで、運動することが習慣化されていきます。

**通うという習慣化だけでも成功**

運動効果を求める場合は、ある程度強い負荷をかけた運動が必要ですが、体力のない高齢者は、身支度を整えて当施設まで外出することが習慣化された

けでも成功です。スタッフや仲間とお話を楽しんで、ちょっとだけ運動して帰る、それで良いです。

利用者の平均年齢は70歳で、最高齢は90歳です。約700人の利用者のうち200人が10年以上継続して利用、まさに健康長寿の実践者です。不安そうにしていた人が笑顔になってきたり、体型の変化が見えたり。「検査の数値が良くなって先生に褒

められた」「旅行でたくさん歩いたけどみんなについていけた！楽しかった！」などの声を聞いたときは、特にやりがいを感じられる瞬間です。

今後も私たち運動指導者の格言「心が動かなければ身体は動かない」を胸に、利用者さんの心を刺激し続け、地域の健康寿命延伸に貢献するために、運動を通じてコミュニケーションの場の提供に努めていきます。

運動療法で健康を支援

〈山形〉  
健康増進センター  
めぐみ  
健康運動指導士  
秋葉 裕



「保健予防活動のいっそうの推進はこれからの時代に必ず

22年前に病院併設型の運動療法施設  
多彩なメニューで「運動」を習慣に

必要」。濱崎允・山形済生病院前院長（現・支部長）の構想と提唱で、1998年7月に、病院併設型疾病予防運動療法施設「健康増進センターめぐみ」がオープンしました。高齢化や医療費の増大が社会問題化し始めたころで、まだ全国でも数少ない先駆的な取り組みでした。

現在は、健康運動指導士14

人（うち看護師有資格者1人）が在籍。山形済生病院の職員や市町村の保健師などと連携しながら、安全で効果的な運動を実施するためのプログラム作成などを担い、片まひや人工関節の方にも対応可能な運動指導資格です。

当施設の特徴は、全ての利用者さんに医師の運動療法処方箋に基づく個別の運動プロ



健康増進センターめぐみ



地域の介護職が参加した施設看取り勉強会



病院実習で、施設職員が当院看護師と一緒に患者さんをケア

取りは怖くて暗いイメージだったが、穏やかなものだと感じた」との感想がありました。こうした意識改革が一番の効果だと思います。プロック会議に参

加するケアマネジャーのアイデアで、医療度の高い要援護者の避難先情報を瞬時に把握できるSNSを活用した情報共有システムが立ち上がりました。民生委員も独自に、災害避難マップの作成に取り組んでいます。

**自分たちの暮らしは自分たちで考える**

会を重ねることに参加希望者も増え、今では年間1000人以上が議論に参加しています。「自分たちの暮らしは、自分た

ちで考える」と、みなさん積極的にです。

済生会地域包括ケア連携士は、人と人とを上手につなぐ。筋交いのような存在だと思います。地域という「素材」を十分理解し、医療と福祉の専門性を「スパイス」に、参加者主体の住みやすいまちづくりの「調理」をお手伝いする感じでしょうか！

コロナ禍で人のつながりが絶たれる中、私たち連携士は「いま新たにできること」を地域のみなさんと探してまいります。



# 福祉医療機構が 外国人介護人材活用による施設経営に着目

特養ながまち荘



7月6日、福祉医療機構が発行する月刊誌「WAM」のインタビュー取材を受けました。

内容は、医療や福祉における施設経営の参考となる取り組みを紹介するというもので、「外国人介護人材が施設を活性化する」をテーマに、峯田幸悦施設長らが取材に応じました。

は、ながまちは、ながまち荘が平成21年度から実施しているインドネシア人EPA介護福祉士候補者の受け入れについて、3人が介護福祉士に合格した成果を話しました。

ほかにも自立支援介護を推進する「ゼロゼロセブンの誓い」や、国際・改善・貢献と新たな介護のあり



# 外国人介護人材に期待

〈山形〉特養ながまち荘



インドネシアから来日しているEPA介護福祉士候補者を、毎週日曜日の夕方に放送している番組で取り上げた山形放送が9月1日に当荘へ取材に訪れました。

「介護の現場を支えます」というテーマで、当日はEPA候補者の中から、平成29年に来日したフィカ介護員に、日本で介護をしてみようと思ったきっかけや実際に働いた感想、将来の夢などをインタビュー。その後、介護場面の撮影も行なわれました。

フィカさんは多少緊張しながらも、介護へのやりがいや来年1月にある介護福祉士試験への勉強に励んでい

ることなどを話しました。当荘ではフィカさんの他に2人の男性EPA候補者が試験に臨みます。夜勤の仕事もしながらの勉強は決して容易ではありません。

ませんが、ぜひ3人も合格という夢をつかんでもらい、山形の介護を支えてもらいたいと思います。  
(主任生活相談員 手塚敬一郎)

特養ながまち荘

## 先輩EPA介護福祉士による 支援がスタート

施設に在籍するEPA介護福祉士のアグス介護員がこのたび自動車運転免許を取得、これにより先輩EPA介護福祉士による外国人支援がよいよ本格稼働します。

2020年3月に介護福祉士に合格したアグス介護員は、さっそく次の目標である「自動車運転免許取得」に挑戦。7月下旬に見事、「発合格」しました。EPA介護福祉士の自動車運転免許取得は山形県内初です。

インドネシア国内でも若者を中心に「憧れ」の自動車「レクサス」を購入するという夢が叶いました。

当施設の後輩EPA介護福祉士候補者にとってアグスさんは目標とする存在で、これから当施設で働く後輩EPA候補者の支援はもちろん山形県内の他施設で働くEPA候補者やその支援者のバックアップにも足を運びます。

(生活相談員 奥原 信)



奥原 信



熊本、松山から「愛」をお届けします!

熊本済生会ほほえみ「パン工房ふわり」 熊本市南区内田町 3560-1 Tel: 096-223-3428
松山ワークステーション「なでしこ」 愛媛県松山市東山町143番地 Tel: 089-916-6959

焼き菓子のネット通販店「なでしこファーム」

なでしこファームは、済生会の就労継続支援事業所で作ったお菓子を販売するネット通販店。
熊本・済生会ほほえみと愛媛・松山ワークステーションが出店し、済生会のホームページ上で営業中です。
商品のクッキーやケーキは、障害者が街のお店に追いつき追い越せと、一生懸命つくりました。
どうぞ一度、その思いも一緒に召しあがってみてください。お中元、お歳暮にも最適です。 店主敬白



済生会のトップページからアクセス!!
https://www.saiseikai.or.jp



ホームページには、他にも魅力いっぱいの商品が。工房で、お店で活躍するスタッフの様子も。ぜひご覧ください。

熊本病院 DMAT隊が14日間活動 県の災害本部にも職員を派遣



7月4日未明に発生した「令和2年7月豪雨」の災害支援活動で、熊本のDMAT隊員(4チーム延べ18人)を7月4日、26日に延べ14日間、八代・吉北・人吉・球磨地域へ派遣しました。
当院は他にも、県災害対策本部(県庁)へも、救急総合診療センター救急科の前原潤一部長をはじめ、ロジスティクス(業務調整員)を交替で4人派遣しました。
派遣先の災害拠点本部(熊本労災病院内)では、当院医師が本部長を務め、看護師と業務調整員は八代・吉北・水俣地域の避難所調査と、老健施設のスクリーニング作業などに尽力。また、4チーム目は人吉・球磨地域に入り、球磨



Tチームとして有事に備えると同時に、この経験を当院の災害対応にも生かしていきます。(DMAT事務局 緒方直吾)

村診療所の立ち上げ支援や、自力で来院した患者さんの対応などの被災地支援を行いました。今後も災害拠点病院のDMAT

# 新型コロナウイルスとの 戦いの記録



## 福井県 済生会病院 コロナ支援から生まれた 病院とパン屋さんの絆

コロナ禍で生まれた福井県済生会病院と県内企業の絆を紹介いたします。

福井県坂井市でパンの製造・販売をするオーカワパンは、5月、「ありがとう」と書かれた小



さな花びらの形をしたシールを貼り付けた2700個のパンを当院に寄贈しました。

これを受けて、当院職員の発案で「シールを集めて花いっぱい



いの木にしてお返ししよう！」という運動がスタート。幅80センチ・縦55センチの模造紙に、「感謝の木」と題した作品が完成、オーカワパンに贈りました。

この話には続きがあります。

県が医療従事者向けに創設した基金を活用して、当院は8月にオーカワパンから3700個のパンを購入。当院職員に配りました。すると、パンのパッケージには「済生会病院の皆様ありがとうございます」というメッセージとともにあの「感謝の木」がプリントされていました。

## 接触確認アプリ 病院に導入支援窓口 福井県済生会病院

8月24〜28日の間、本館1階患者待合ロビーで来院者向けに

発案した当院の職員は、手作業で貼られたシールに心が和んだ」と話し、オーカワパンの職員は「医療従事者の皆さんに逆に励まされました」と話していました。

(済生記者 吉川千恵)



新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の導入支援窓口を開設しました。

午前9時〜正午に、ご高齢の方を中心にアプリの特徴を説明。画面操作を手伝い、インストールを促しました。支援を受けインストールした67歳の男性は、「スマホが使いこなせず、まだだったが、感染する可能性はゼロではないので入れたほうがいいと思っていた」と笑顔に。

発案者の登谷大修院長は「無症状の感染者をいかに見つけるかが大切。多くの人がアプリを利用すれば効果が上がる。お年寄りにも促し感染拡大防止の一助になれば」と話しました。

5日間を通して患者さんや地域の方など154人と多くの方に窓口をご利用いただきました。

(済生記者 吉川千恵)

## 遠隔操作ロボット 病室巡回へ 福井県済生会病院

当院では9月4日に遠隔操作ロボット「newme」を導入しました。newmeは、ANAグループが看護師などの代わりに患者



を動かすことで様々な角度から高い精度で患者さんの表情などを観察できます。

登谷大修院長は「看護師らが病室に出入りする時間や回数を減らすことができ、感染予防ができる」と話しています。さらに、「新型コロナウイルスの感染予防のために現在面会禁止にしているが、家族らが患者さんの顔を見ながら見舞いできるような活用したい」と、別の効用にも期待を寄せています。

(済生記者 吉川千恵)

**アルビレックス新潟から  
感謝とエールの贈り物**

〔新潟〕三条病院

プロサッカーチーム・アルビレックス新潟から9月8日、



「ONE NIIGATA」ユニホームと、選手の写真パネルが届きました。

新型コロナを乗り越え、新潟が一つになることを目指す同クラブの活動「ONE NIIGATA プロジェクト」の一環で行なわれたもの。感染症対策の最前線でも戦う医療従事者への感謝とエール、そして最大限のリスペクトの証として企画したそうです。

ユニホームには「医療従事者の皆様に感謝します」と、選手からの直筆メッセージが書かれ、職員は感激していました。

Jリーグは再開しましたが、入場制限などの厳しい対応が続

いています。アルビレックスファンの職員は、「スタジアムになかなか足を運べないが、こんな時だからこそ応援したい」と、ネット観戦やSNSでエールを送っているとのこと。互いの応援を力に変えて、共に逆境を乗り越えましょう！

〔済生記者 治田貴大〕

**コロナで特設窓口  
患者の声をカタチに**

〔三重〕明和病院

明和病院では、新型コロナウイルスウィルス感染症対策として、流行初期から病院正面玄関前に特設窓口を設置しています。

メンバーは、感染対策室の看護師と事務職員の2人で構成。

特設窓口の業務は多岐に渡り、外来患者さんへの検温やアルコールでの手指消毒、入院患者さんやそのご家族、その他の来院者への問診の実施、さらには受付窓口の密の回避のために、特定健診・がん検診の窓口の役割も



兼ねており、新型コロナウイルス感染症から病院を守る防波堤のような役割を担っています。感染症対策とは別に、特設窓口にいると、患者さんやそのご家族と直接触れ合うことができ、病気の状態や今の思い、病院へのご意見を聞かせていただく機会もあります。それらの「声」を、今後の病院運営に生かし、地域の皆さんにより信頼していたできるように努力することが、自分たちの使命だと感染症対策を通じて感じました。

〔医事課 北浦拓弥〕

**病棟でもリハビリを  
理学療法士が発案**

福岡総合病院

「もっと入院患者さんに満足してもらえりハビリを」とPT



が発案し、8月から病棟に平行棒を設置しました。

福岡総合病院では新型コロナ感染症予防対策のため、リハビリ室の使用や、リハビリを行なう患者さんの人数を制限。代わりに、ベッドサイドでリハビリを実施していますが、十分ではないとして導入したものです。

主に整形外科手術後の患者さ

んの利用を想定しています。下肢手術後は、早期に離床し免荷起立・歩行練習をすることでADL低下を予防し、廃用を来さないことが重要だからです。感染防止対策をしつかり行ない、患者さんに満足していただけるリハビリを実施します。

〔済生記者 小田温子〕

**呼吸管理に早速活躍！  
感謝の寄贈品**

滋賀県病院

8月28日、日本中央競馬会栗



東トレーニング・センターから、医療機器（人工呼吸器と超音波画像診断装置）が寄贈されました。

「新型コロナのために、医療機関の逼迫が数多く報道される中、日頃から騎手や厩舎関係者の病氣・傷病治療に尽力している医療機関を支援したい」とのこと

で、今回のご厚意に職員一同心から感謝しています。寄贈された機器は、早速各病棟の呼吸管理に必要な患者さんで使用し、活躍しています。

より一層の医療提供と地域貢献に寄与するため、大切に使用します。

〔済生記者 西澤真由美〕

**テレビ面会で患者・  
家族の安心を支える**

〔岡山〕吉備病院

コロナ禍で面会を禁止している中、8月17日から全病棟で、入院患者さんのテレビ面会を開始しました。

在宅復帰に向けたリハビリや支援に特化している当院の在院日数は40〜60日と長く、入院中の患者さんにとって家族との関



ご家族からも「電話だと表情が分からないし、メールも不便。顔を見て会話ができるのでお互いに安心です」との感想をいただきました。

この状況がいつまで続くのか予測できませんが、患者さんのためにできることを見つけて、一つずつチャレンジを続けます。

〔済生記者 片岡かおり〕

この9月から、Zoomを利用したオンライン面会対応を行

**画面越しの面会が好評**  
〈神奈川〉若草病院



新型コロナウイルスが終わっても感染予防対策には終わりがありません。今後も患者さん・職員の安全確保に努めてまいります。

(済生記者 田端雄輔)

新型コロナウイルス感染症対策のため、当院でも患者さんとの面会は原則禁止。そんな中、タブレット端末でオンライン面会できるようにしました。患者さんは病棟にいて、家族は通話できるスペースに待機してもらいます。そして、職員がタブレットで接続し、ご本人と話してもらいます。実際に利用された方には、かなり好評です。特に、患者さんの表情の変化には驚かされます。ご家族と話され、大変喜ばれています。顔に輝きが出ます。画面越しであっても、家族と会える、話せることは、本当に



生きる力につながるんだ！という実感しました。これからも、患者さん・ご家族の気持ちに寄り添えるよう、努めます。

(済生記者 長澤伸哉)

**連携先歯科医から防護服1000枚**  
若草病院

9月4日、訪問歯科診療に来ていただいているつばさ歯科の加藤崇先生から、感染対策用の防護服を1000枚いただきました。加藤先生は金沢区の歯科医師



会長で、神奈川県歯科医師会から防護服が提供されたそうです。今回の1000枚は、その中から連携先の当院へのおすそ分けとのこと。有名メーカー製で、大変ありがたく頂戴しました。新型コロナウイルス感染症と

(済生記者 長澤伸哉)



**地域の子どもたちの応援メッセージ**  
〈石川〉金沢病院

8月14日に金石幼稚園の園児191人と金沢市に隣接する白山市の明光小学校の児童5人から、当院の医療従事者へ応援メッセージが届きました。新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、日々の医療業務に対する感謝や応援が詰まったものです。メッセージは、で

**自動検温で三密回避**  
〈三重〉松阪総合病院

松阪総合病院では、安心して来院できる病院を目指して9月11日に正面玄関にAI温度検知ソリューション『Sense Thunder-Mini (エア・ウォーター社製)』を設置しました。検温所要時間0・5秒のこの機器は「三密」を回避する点からも非常に効果的です。感染予防対策の一環として、8月24日から出入口を正面玄関と入退院出入口に限定し、来院者全員の検温・手指消毒を各部署の職員が交代で担当し行なってきました。

きるだけ多くのスタッフや患者さんにも見てもらえるようにエントランスに掲示しました。色とりどりの応援メッセージのハガキには、「いつもみんなのげんきのためにがんばってくれてありがとう」「うがい、てあらいします」などの言葉が記され、温かくもかわいいメッセージに、緊張が続く職員らにも笑みがこぼれ、癒やされています。

(済生記者 山川友和)

日本を代表する劇作家・演出家から信頼される

女優・鈴木杏さん。

メッセージ性の強い作品では、

役に没頭するあまり、

日常も自分ではない感覚に

陥ることもあるとか。

そんなとき、役を手放し

自分を取り戻す方法とは？

さらに、コロナ禍であらためて感じた

舞台への想いを聞きました。

# 鈴木杏

Anne Suzuki

## 命がけで観に来てくださったことが、 舞台上にも伝わりました。

Text: みやじまなおみ  
Photos: 吉川信之  
Styling: 三浦真紀子  
Hair & Make-up: 宮本愛 (yosine.)

役に入り込んでしまうと、感情のコントロールがきかなくなることがある。舞台ではいつもより心の扉を開けている分、繊細になり、傷つくことも多いという。「私の場合は、そのときの役によって、なぜかマシユマロが食べたくなったり、リング

が食べたくなったり。嗜好も変わるがあります」  
切り替える方法として挙げてくれたのがサウナ。汗をたくさんかくことがリフレッシュになるといいます。「あとは、犬といちゃいちゃします(笑)。彼に私の精神状態は関係ない。散歩の

時間、ご飯の時間、彼のリズムに合わせることで、自分が素に戻る感覚があります」

今年にはコロナ禍で公演もままならず、半年のブランクを経て、先ごろ一人芝居で舞台の仕事が再開された。そのとき、観客と心の交流があったという。「感染の危険もあるなか、命がけで観に来てくださったんだと、舞台上でわかったんです。今まで、演劇は心に触れるものだと思ってきましたが、もっと深いところで命に触れている仕事なのだ」と実感。気づいたからには、心身がよりきれいな状態で舞台に立ちたいと思うようになった

秋は、野田秀樹潤色による『真夏の夜の夢』に臨む。「ルーマニアを代表する世界的な演出家であるブルカレテさんのもと、目の前で起こることを楽しむつもりで、純粹さを持って作品をつくっていきたいです」



### 東京芸術祭2020 東京芸術劇場30周年記念公演『真夏の夜の夢』

原作では、アテネの森を舞台に展開される貴族たちの恋の物語だが、今回は、日本の割烹料理屋「ハナキン」の人々による富士のふもとの「知られざる森」が舞台に。さらに、別作品「ファウスト」のキャラクターである悪魔・メフィストフェレスが物語に乱入。野田秀樹の真骨頂である言葉遊びと重層的な物語に浸るうち、切なく美しい喜劇へと集束していく。

■原作: ウィリアム・シェイクスピア 小田島雄志訳『夏の夜の夢』より

■潤色: 野田秀樹 ■演出: シルヴィウ・ブルカレテ

■出演: 鈴木杏、北乃きい、加治将樹、矢崎広 ほか

2020年10月15日(木)～11月1日(日) 東京芸術劇場 プレイハウスほか、新潟・松本・兵庫・札幌・宮城にて上演予定



Vol. 125

# 口福につぼん

吉井省一

それはさておき、この鯖や鮭をのせた人気のおすしには、知る人ぞ知る秋限定「バージョン」があるのをご存じでしょうか。

貴重な海の幸を大切に保存するための工夫

なぜ海が無い奈良で海産物を使った「柿の葉すし」が名物になったので



済生会の「病院・施設」がある県内の市町村

「か」の正岡子規先生の名句「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」を取り上げるまでもなく、柿の名産地と言えば奈良。もちろん、柿そのものだけでなく柿を使った様々な特産品があることでも知られています。

に付き合わされたままごと遊びを思い出します。

青々とした葉でくるまれた「柿の葉すし」もそのひとつ。皆さんも物産展などで見たことがあるのではないのでしょうか。それにしても、葉っぱでご飯を包むなんて、まるでむかしばなしに出てくるような素朴な食べ方。小さい頃に近所の女の子



すし本舗たなか

37

## 柿の葉すし・紅葉

《柿の葉すし本舗たなか》

奈良県五條市

なか」がある奈良県五條市は、金剛山の麓にある山がちな土地柄。そのため、河口の紀の川から続く吉野川をさかのぼってきた船が運んでくる海の幸はごくわずかなものでした。

この貴重なたんばく源である魚の切身をたつぷりの塩で締め、握り飯にのせ、生の柿の葉で包んで重石をのせた保存食が始まりと言われています。

ここで重要な役割を果たしているのが柿の葉。五條から西吉野までの一帯が古くから柿の産地だったことも幸いしました。近年になって、柿の葉にはビタ

ミンCが豊富でポリフェノールの一種タンニンが多く含まれていることや、抗菌・抗酸化作用があり、乾燥を防ぐとともに保存性を高める効果もあることが分かってきました。こうした効能を知っていたとすれば、昔の人の知恵はたいしたもの。やがて、この郷土の味は夏祭りのごちそうとして定着し、地元が集まりや家庭の食卓に欠かせない行事食となってきました。当時は熟れ寿司の一種として塩も強めだったので数日食べられましたが、最近では塩も重石も控えめなので一晩寝かせた翌



金剛山の麓の五條市は、大台ヶ原に源を発する清冽(せいれつ)な吉野川が流れる、自然豊かなまち

日くらいがおすすめとか。

### 締めた鯖や鮭の旨みを柿の葉の香りで包む

今回は、美しく紅葉した柿の葉で包まれたおすしをご紹介します。ただし、おすしの味は葉の色では変わらないとのこと。詰め合わせの具は、鯖・鮭・鯛の3種類です。

まずは柿の葉すしのルーツである鯖からいただきます。柔らかい身には脂がしっかりとついで、口でとろけるまったりとした食感。鯖の旨みに柿の葉の香りがほんのり寄り添って、酢飯との相性も抜群です。

鮮やかな紅色が食欲をそそる鮭は、とろっとした口当たりとあっさりした味わいで何個だつてべろりといけます。酢飯が苦手なお子様にも喜ばれそう。

締まった身に旨みたっぷりの鯛は、甘酢とからみ合う上品な味わい。刺身を思わせる風味を保ちながら、シコシコした絶妙な歯応えがアクセントになって食べ飽きません。桃色がかった身はしばし見ていたくなるほど美しいのでお祝いの席などにも最適です。

辛口の日本酒に合うのは言う



常時販売されている定番のおすしは、夏の青々とした柿の葉を塩漬けにすることで、その鮮やかな色と味わいを一年中愉(たの)しめることに



秋だけの遊び、彩り豊かな「紅葉」

に及ばず、白ワインやシャンパンにもよく合い、ホームパーティーのメニューにもぴったり。葉を持って食べれば、清潔に食べられて手もべたつきません。実は私も知らなかったのですが、この柿の葉すしは温めても美味しいのです。昔は冬になってご飯が固くなるとストープや



火鉢などであぶって食べていたこともあるそう。葉で巻かれたままオーブントースターで5〜6分焼くと、鮭や鯖の脂がとけ出してご飯にしみわたり、確かに味わいがぐっと増します。私の家族からは「こっちの方が好き！」の声もあがるほど。

ちなみにこちらのお店には、5〜6月には採れたての生の葉を使った香り高い「若葉の柿の葉すし」もあります。今回ご紹介の「紅葉の柿の葉すし」の今年の予約は11月10日まで。お届け



季節限定商品 柿の葉すし・紅葉  
[さば・さけ・たい各6個 計18個/木箱入り]  
3,716円(税込・送料別) 消費期限…製造日を含む3日目の20時まで(今年の予約は11月10日まで)  
※紅葉の色つき具合は、その年の気候などにより異なるため、葉の採取量によってはご希望日にお届けできない場合があります

お取り寄せ・お問い合わせは  
柿の葉すし本舗たなか 〒637-0014 奈良県五條市住川町1490  
TEL: 0120-111-753 FAX: 0120-013-753  
営業時間: 9:00 ~ 18:00  
ホームページ: <https://www.kakinohasushi.co.jp/>

けは11月初旬〜中旬という短い期間なのでお気を付けてください。さあ、皆さんもこの季節限定の柿の葉すしで、ご自宅にいなから美味なる「紅葉狩り」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。

# キツネとキノコの オータムリース



## リース・枠

1 折り紙を半分に折る

2 折り目をつけて戻す

3 折り目まで折る

4 折り目で折る

5 下の角を上の上の辺まで折り、のり付けする。これを4枚つくる

6 4枚を組み合わせ、裏でテープで止める

山折り  
谷折り  
裏返す

## リース・中

1 折り紙を中心線をつけてから折る

2 裏返す

リース・完成  
リース・枠の裏に、リース・中をのり付けする  
裏から貼る



## キツネ・顔

1 1/8に切った折り紙を上の方に合わせて折る

2 点線で折る

3 裏返して顔を描く

## キツネ・体

1 1/4に切った折り紙を中心線をつけてから折る

2 中心に折る

3 点線で折る

キツネ・完成  
体に顔をつけて完成

## キノコ

1 左右に切れ目を入れ、上の角を折る

2 点線で折る

3 ななめに折ると、じくの形が変わるよ

4 点線で折る

5 裏返して、模様をつけ完成

## 樹木・葉

1 1/4に切った折り紙を中心線をつけてから折る

2 点線で折り、裏返す

## 樹木・幹

1 1/8に切った折り紙を半分に折る

2 図のように切り、開く

幹と葉をのり付けする

## 樹木・完成

## 完成

リースにキツネとキノコ、木、切り抜いた葉っぱを貼る。最後に裏にリボンをつけて完成



【いまいみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に『12か月のおりがみ壁飾り』など34冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。最新刊は「季節のおりがみ つり下げ飾り」(講談社)

おりがみ協力:株式会社トニー



## 100歳を祝う テレビ電話

愛知県済生会  
リハビリテーション病院

(済生記者 山野大輔)

こもったアマビエのメッセージカードをレクリエーション時に使用。生徒から利用者さん一人ひとりに向け「コロナが早く終息しますように……」と気持ちを伝えます。利用者さんも画面越しに「あんたらもコロナに負けたらあかんぞ」「私たちも頑張るよ」と生徒たちに激励の言葉をかけていました。笑顔、思いは画面を通じても伝わるものです。今後もオンラインの介護実習を充実させていただきます。

入院患者さんの百寿のお祝いを7月2日に行ない、職員からご本人の顔写真を折り紙で飾った色紙を贈りました。ご家族からも写真付きの手紙が届き、患者さんは「リハビリ頑張るね、べんきょうがんばって」と一生懸命に返事を書いていました。コロナ禍で面会を制限しているため、ご家族にはテレビ電話



で参加してもらい、みんなで誕生日の歌を歌ってお祝い。患者さんはご家族と過ごすのを心待ちにしていたので、何度も「ありがとう」と繰り返し、大粒の涙を流していました。ご家族も「お祝いできてよかったです。ありがとうございまして」と患者さんの元気な顔を見て大変喜ばれ、私たちも思わず目頭が熱くなりました。職員



古池と紅葉(新潟県燕市国上) 撮影 (新潟)三条特別養護老人ホーム長和園 地域包括ケア推進室 広報室 木村善行

# topics

## 小林支部長に救急功労者 総務大臣表彰

〈栃木〉宇都宮病院

9月9日の「救急の日」に、東京都千代田区のKKRホテル東京で、「令和2年度救急功労者表彰式」が開催され、栃木県済生会の小林健二支部長が総務大臣表彰を受賞しました。この賞は、長年にわたり救急業務の推進に貢献し、福祉の増進に多大な功績があった個人・団体を、都道府県や消防局が推薦し、表彰者を選出します。今年度の総務大臣表彰は、個人14人及び2団体が選出され、



代表で小林支部長が総務大臣から表彰を受けました。県・市・行政と連携した大規模災害訓練や、病院実習の積極的な受け入れ等を行ない、救急隊員の資質向上・救急業務の高度化に貢献してきた功績をたたえられ、平成30年度の「救急医療功労者厚生労働大臣表彰」に引き続き受賞しました。今後も患者さんや時代のニーズに合わせた医療を提供できるよう、職員一丸となって高度急性期医療の充実に尽力してまいります。

(済生記者 川原彩花)

〈大阪〉泉尾特養大正園

## オンラインで介護実習

9月3日、コロナ禍の影響でなかなか実施できなかった大阪市立淀商業高校一年生の介護実習をオンラインで行ないました。例年は3人ほどの生徒たちが来るのですが、20人が参加しました。

実習は生徒が主体となり、生徒の自己紹介、クイズ、利用者さんへの質問コーナーを行ない、交流を深めました。事前に預かった生徒の思いの

も心温まる時間を過ごし、面会が制限される今は、家族の絆をつなぐ架け橋の役割を担っているんだと改めて感じました。

〈介護福祉士 吉田いずみ 河合 彩〉

〈山口〉下関総合病院

## 看護の喜びを 感じるために!

8月26日、当院の看護副師長会が、スタッフ一人ひとりのやりがいや、自己肯定感を高めるために何ができるかについて協議しました。

各部署、日々さまざまな心温まる看護を行なっており、まるで副師長のスタッフ看護自慢大会になりました。

面会が禁止されているなか、窓ガラス越しにご家族に患者さんの元気な様子を見せたり、最近撮った写真を見せて安心してもらったりと、それぞれの心遣いを知りました。そこで、「よい看護を部署内だけにとどめず、たくさんの人にも知ってもらいたい」という意見が出て、心温まる看護を行なったスタッフが、多職種にも承認され、看護の喜びや、面白さを感じ、やりがいにつながる事を目的に、院内掲示板を活用するようになりました。

(済生記者 新田和美)



〔静岡〕 小鹿苑デイサービス  
やってよかった夏祭り

デイサービスで8月20～26日まで、夏祭りを開催、1週間で100人を超える利用者さんが参加しました。

今年は新型コロナウイルス感染予防のため、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施。射的や輪投げ



げ、魚釣りや駄菓子屋などのブースを用意しました。  
魚釣りでは「今日のおかずは何にしよう」と、食べたい魚を釣ろうとする様子がほほ笑ましく感じられました。人気はやはり、マグロ・タイ・クジラです

が、大物だけに簡単には釣れません。慎重にトライして釣れると、うれしそうに笑顔に。

初チャレンジの人が多かった射的も、職員の補助であっという間にコツをつかみ、次々と倒し高得点を挙げていました。

帰り際に「楽しかった」「またやりたい」と言う利用者さんが多く、開催してよかったと感じました。

（済生記者 宮上香夢）

〔福岡〕 飯塚嘉穂病院

津軽三味線で  
癒やしのひとときを

9月2日に、6階の地域包括ケア病棟のラウンジで、看護師の末廣裕美さんによる津軽三味線の演奏会が開かれました。末廣さんは津軽三味線の様々な大会で上位に入賞しています。

演奏会では、「四季」「瀬戸の花嫁」など8曲が披露され、「炭鉱節」では演奏に合わせて病棟スタッフも踊るなど、患者さんも楽しみながら過ごしていました。演奏会に参加した患者さんからは「心が浄化された」「面会禁止で家族ともなかなか会えず寂しかったが、とても良い気



分転換になった」という声がかれました。

コロナ対策をきちんとした上での演奏会。ご家族となかなか会えない患者さんのためにも、少しでも気分が晴れるように、今後もこのようなレクリエーションを増やしていこうと思います。

（経営企画室 春口勇介）

神奈川県済生会

寿地区の2団体に  
感染対策用品を寄贈

手指消毒液やマスク、防護服

は、30代から80代と幅広く、コロナ感染拡大から病院への受診をためらっていた方もいましたが、当院の状況を聞いて安心している様子でした。

コロナ禍の今だからこそ、地域の皆さんに健康や病院に関する正しい情報を知ってもらい、自身の健康のため活用していただきたいと思います。今後もオンラインとの連携を強化し、地域を開く取り組みを推進し、健康なまちづくりに寄与していきたいと考えています。

（看護部長 水野伊津子）

〔大阪〕 特養城東園

野江病院の認定看護師に  
一次救命処置を学ぶ

9月4日と10日に、「一次救命処置講習 COVID-19 エッセンス入り」研修会を行いました。

野江病院から救急看護認定看護師・佐藤友治副看護師長と、感染看護認定看護師・山下春生主任を講師に迎え、受講者参加型で実施。新型コロナウイルス感染防止対策を盛り込みながら、受講者全員が①倒れている人の発見②生命兆候確認③周



囲への指示④心臓マッサージ⑤AED装着と注意喚起⑥心臓マッサージ交代の方法⑦救急隊に引き継ぐ――までの一連の対応を体験しました。

子育て中の職員が「小児の場

合はどう対処したらよいのか？」と質問するなど有意義な時間になりました。多職種チームで目的を共有し、互いを必要として達成を目指すことで、仲間意識を高めることにもつながると気づけたよ研修会でした。

（看護課長 米須久美）



などを7月31日、横浜市寿町健康福祉交流協会と、炊き出しの会に寄贈しました。前者は、横浜市寿地区住民への保健・医療の提供や社会参加・就労支援などに取り組む団体で、後者は医療支援サポートや炊き出しなどを行なうボランティアです。

寄贈したのは、手指消毒液1リットル×10本とマスク



コロナ禍の今だから  
知ってもらいたい

神奈川県病院

8月から月2回、イオンスタイル東神奈川の店内一角を借り、地域に住む方々が気軽に立ち寄ることができる「なでしこ保健室」を開催しています。

保健室では、保健師、看護師等が、健康に関する情報や病院の取り組みを発信、ほかにも介護やおくすりに関すること等、様々な相談ができるようになっています。

相談に立ち寄られる方の年齢



## Go To 芋掘り遠足!!

〈石川〉こども園アイリス

9月11日、年中、年長組の園児39人が大型バスに乗り、金沢市郊外にある五郎島町に芋掘り遠足に出かけました。

五郎島町は加賀野菜の一つ

「五郎島金時」の名産地です。軍手をはめて芋掘りの準備OK! はじめに、つる引きです。長いつるを満身の力を込めて引つ張って、勢いあまってしりもちをついてもへっちゃらの子どもたち。土から芋が見えてくると我さきに、と懸命に土を掘ります。顔に砂がかかっても平気!! 軍手を真っ黒にしても大きな芋を次々と掘りだし、「先生、みて!!」と自慢げに掘った芋を見せて来ました。きれいな紫色の大きな五郎島金時は大収穫でした。

早速、その日のおやつはふかし芋。自分たちで収穫したお芋は格別な味で、お代わりの嵐でした。降園時、自分で掘った大きなお芋をお土産にして、得意げにお母さんに芋掘りの様子を話す子どもたちの後ろ姿を何人

も見かけました。

〈済生記者 宮本祐紀〉

## 〈静岡〉小鹿なでしこ苑 そっくりな肖像画も! 100歳記念のお祝い

敬老の日にあわせて今年100歳を迎えた利用者さんに、9月3日、静岡県からお祝いの品が届きました。



安倍晋三内閣総理大臣(当時)と川勝平太静岡県知事からのお祝い状のほかに、記念品として銀杯や竹細工、ご本人の肖像画も届きました。特に肖像画は本当にそっくりで、職員一同びっくり。ご本人もとても喜んでいました。

新型コロナウイルス感染症の対策もあり、大勢でのお祝いとはいきませんが、利用者さんの笑顔が見られ、記念写真も撮ることができて、うれしいひとときとなりました。

大変な時期ではありますが、これからも感染症に気を付けながら、利用者さんが明るい気持ちになれるよう介護に励みます。  
〈済生記者 杉山明日香〉

## 生け花でリフレッシュ!

### 静岡済生会療育センター令和

9月8日、療養介護入所中の患者さん6人(19~34歳)が、療養活動として療育支援課・療育技術科の職員と共に生け花に挑戦しました。職員がフォローしながら花を

剣山に刺し、完成した生け花はセンター内の6カ所に飾りました。作成した患者さんは笑顔で、「飾られてうれしい」

「楽しかった」「作品を見た多くの職員から声を掛けられ、うれしかった」との感想。職員からも「花が飾られていて気分が明るくなる」「癒やされる」「元気をもらった」など、多くの反響がありました。こうした取り組みを楽しめるかを考えながら、日々お手入れしています。

面会制限・外泊禁止

等、患者さんにとって楽しみが減ってしまうことが多い時、リフレッシュできた活動ができて、



センター内に笑顔が増えました。  
〈済生記者 岩崎つかさ〉

## 〈鹿児島〉川内病院

### 野菜の日 「栄養のチカラ」

8月31日は、語呂合わせで「野菜の日」です。最近はややメディアも取り上げ、認知度も上がっています。

当院がある薩摩川内市では、健康やかに生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、野菜1日350グラム摂取を推進する「薩摩川内市350ベジライフ宣言」を掲げています。各関係機関・団体がこれに賛同し、当院も毎年展示を行なっています。今年もCOVID-19感染拡大



という背景から、免疫機能を低下させないで、感染症の予防に役立つ食事「予防めし」(日本栄養士会提案)と、野菜の持つ機能について展示をしました。当院の栄養相談室は、外来の入り口という一等地。大きなガラス全面を使い展示したところ、予想以上に多くの方が関心を持って見てくれて、うれしい反響でした。管理栄養士として、今後も食の情報と共に、栄養の「チカラ」を伝えたいと思います。  
〈栄養科科長代行 江口恵子〉

## 〈大阪〉吹田病院

### 島院長の 業績をたたえる

当院の島俊英院長が、第32回京都府立医科大学関係病院等協議会医学研究功労賞を受賞。8月の定例総会で表彰式が行なわれる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、日を改めて9月13日、京都東急ホテルで開催されました。

日常の臨床を主体とした研究に関する論文を発表し、指導的な役割を果たしたとして令和元年度に推薦を受け、関係病院の発展と研究に長きにわたり貢献



してきたことが高く評価され今回の受賞に至りました。「当院では2007年に岡上武名誉院長が院長に赴任されてから非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の臨床研究を開始し、多数の臨床データを集積、数々の成果を論文発表してきました。NASHは現在、肝生検で診断しますが、フィブrosisキャンという肝臓の硬さを測る機器と血液マーカーを組み合わ

せることで高い精度で非侵襲的に診断を行なうことができます。論文が影響度の高い雑誌に掲載され、うれしく思っております。この名誉ある賞を受賞できたのは、吹田病院の各科の先生、職員の協力のおかげであり、大変感謝しています」と島院長は話していました。  
〈済生記者 橋本 茜〉

託児所で避難訓練

長崎病院



8月21日、消防隊員立ち会いの下で託児所の避難訓練を行ない、保育士4人・支部事務局員2人・乳幼児10人が参加しました。出火元をテレビの配線と想定定

実際に119番に通報し、全員で近隣駐車場へ避難しました。「火事です！逃げてください」――拡声器で叫ぶ保育士の緊迫した声に、子どもたちはびっくりに、こわばった表情。避難場所に着いた後も、小さい子どもたちは保育士の手を握って離れません。訓練が終わるとようやく安心し、おもちゃで遊び出すとかわいいたい笑顔が戻りました。

一方、保育士たちは消防隊員の講評を聞き、託児所前で水消火器による消火訓練も。消火器の使用法と、火をうまく消すコツを学べてよかったです。

訓練を通して、子どもの命と自らの命をどう守っていくか、素早い判断と行動が大切だと改めてよかったです。

めて考えさせられました。

(総務課 大川七海)

〈新潟〉なでしこ青空保育園  
みんなで夏まつりごっこ

園児93人が8月21日、夏祭りごっこを楽しみました。

例年は保護者も参加する夏祭りを夜間に催していますが、コロナ禍で中止。代わりに、子どもたちと職員だけで日中に夏祭りごっこを行いました。

4・5歳児を中心に、的当て・魚釣り・食べ物屋さんなど



の出店内容を決め、みんなで楽しめるようにアイデアを出し合い、協力しながら準備しました。

大谷久美子園長先生の「夏祭りごっこ、楽しませよう」の掛け声でスタート。少人数グループで、お屋さん役とお客さん役を交代して楽しみました。

3歳未満の小さなお客さんに、5歳児が「どれがいいかな？」と優しく接する姿に、思いやりの心が育っていると感じました。最後はみんなで盆踊り。子どもたちにとって楽しい夏の思い出になりました。

(済生記者 梨本あゆみ)

なでしこ青空保育園

プール遊びで心身を鍛錬

5歳児16人が9月1日、月に一度の体操教室に参加しプール指導を受けました。

外部講師による指導は、子どもの挑戦意欲を刺激し、普段は「できないかも……」と諦めてしまうことも「できるかも！」の気持ちに変えてくれます。

ゲームやおもちゃを取り入れた水遊びに始まり、水かけごっこ、顔つけと段階を踏みながら水に慣れていきました。そしていよいよ、バタ足泳ぎに挑戦。「さあ、行くぞー」と意気込み、プールの見つける視線は真剣そのもの。



泳げたかどうかの結果以上に、挑戦する勇氣や緊張感、思うようにできない悔しさなどの心を動かす経験が、子どもたちを大きく成長させたように感じます。心も体も鍛えられた夏です。

(主任保育士 坂口友恵)

〈山形〉特養山静寿

納涼祭で花笠踊り

9月14日、特養山静寿のりにんそうユニットにて、納涼祭を行ないました。

今年は、新型コロナウイルスの影響もあり、夏の恒例行事「縁日」が中止になりました。それを残念に思う入居者さんが多く、「小規模であっても楽しんでもらえる行事を企画しよう！」と、職

員が一丸となり準備を進めました。

納涼祭当日は、職員がひそかに練習を重ねていた「花笠踊り」を入居者さんの前で披露。花笠音頭に合わせて「ヤッショ、マカシヨ」と威勢のいい掛け声が会場に響き渡りました。その後は、カラオケや水ヨー



ヨー、射的等のゲームを楽しみ、会食。お好み焼き、アイスクリーム、ケーキ等、入居者の皆さんの大好物が並びました。飲食が困難な方にはプレゼントを準備してお渡ししました。

(済生記者 丹 秀樹)

〈三重〉明和苑デイサービス  
まつりだ、わっしょい

8月24日から27日まで、デイサービスで夏まつりを行ない、延べ40人が参加しました。

例年は輪投げや金魚すくいに似せたゲームなどを行なっていますが、今年は新型コロナウイルス対策をしながらかき氷の提供とおみこし、盆踊りを実施しました。

かき氷はおかわりをされる方も多く、皆さん喜んで食べていました。かき氷を食べ終えるとデイサービスの前川真二郎事務長手作りのおみこしがデイサービス内を回り、利用者さんたちが「わっしょい、わっしょい」と声をかけ、盛り上がりしました。



最後には浴衣にマスク姿の職員たちが利用者さんを囲み盆踊りが始まりました。炭坑節や東京音頭、明和音頭に加え、今年のは萩野目洋子さんの「ダンシングヒーロー」も披露。

夏まつりに参加された利用者さんからは「今年は近隣地域の夏まつりも中止なので浴衣姿を見られただけでも夏を感じるこ

とができた」と喜んでいました。

(済生記者 石田真央)

増山医師に  
救急医療功労者知事表彰

救急の日の9月9日に、地域



の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献された個人や団体に對し、その功績を称える救急医療功労者知事表彰が、滋賀県庁知事室にて行なわれ、診療部長兼救命救急センター副センター長の増山守医師が表彰を受けました。

三日月大造滋賀県知事から、新型コロナウイルス対応への労いの言葉をいただいた増山医師は、「救急という様々な症状の患者さんの受け入れを行なっている中、コロナとインフルエンザの患者さんの見極めなど多くの課題もありますが、今後も地域医療に貢献していきたいです」と話していました。

(済生記者 西澤真由美)

# topics



イカ割り。入居者さんが力いっぱいスイカをたたき、周りからは「それ！」「もう一息！」と声飛び交いました。「スイカ割りなんて初めて」「子どもの頃以来だな」と、昔を懐かしむ方もいました。

出店にはかき氷や唐揚げ、芋煮、焼き鳥、クレープなどが並び、いつもはあまり食が進まない方も、この日はわれ先にと好きな物に手を伸ばす姿に、職員はビックリ仰天。普段とは違う

今年にはコロナウイルス感染予防のため家族は参加せず、かつ三密を避け、104人の参加者さんを四つのグループに分け、四つの会場で同時進行という分散型での実施にしました。オープニングセレモニーはス

〈富山〉などで保育園お祭り「いっしょにわっしょい」お祭りごっこを8月28日に行ないました。



例年は7月に、保護者や卒園児を招き夏祭りを催しますが、今年度はコロナ禍で中止。しかし、少しでもお祭り気分を味わおうと企画し、子どもたちと一緒に準備しました。

年長児24人が自分たちで作った御神輿を担いで練り歩き、お祭りごっこの始まりです。「わっしょい！ わっしょい！！」と元気な声で、保育室や給食室などを回りました。その後は感染予防のためグループに分かれ、手作りの屋台が開店。たこ焼き・金魚すくい・綿菓子・お面・かき氷など、どれも本物さながら。「いらっしやいませ〜」「たこ焼きいりませんか〜」と、熱演する子ども



一面を見ることができました。日常ではなかなか味わえない楽しさとおいしさに、皆さんの笑みがあふれていました。

〈大阪〉野江病院

Zoomで学生とつながる

呼吸器内科の相原顕作部長が



京都大学の学生と、9月4日にZoomセッションを行ないました。

毎年実施する医療系1回生の実習が、コロナ禍で中止。「医療者の働き方など医療現場がわかる動画を提供してほしい」と大学から請われ、医師4人・看護師1人のインタビューを中心

たち。お店屋さんとお客さんを交代で楽しみ、子どもたちはとっても満足でした。

〈済生記者 唐沢智香〉

〈静岡〉川奈臨海学園

新築工事地鎮祭

（仮称）川奈臨海学園新築等工事地鎮祭」を8月20日に実施。関係者22人が参加しました。

現在の建物は1972年の改築から48年が経過し老朽化。2016年の児童福祉法改正、18年の「新しい社会的養育ビジョン」を受け、児童養護施設は小規模化・高機能化・多機能化などが求められる中で、家庭的な養育環境を整備する必要性に迫られて全面改築を計画しました。2021年度に新施設へと移行できるよう進めています。

新施設は、現在のグラウンドに建設し、本体施設の定員は36人（1ユニット6人の6ユニット）。1階には地域交流スペースや家族療法室に加え、2020年8月から伊東市の委託で開始した子育て短期支援事業専用の居室を配置します。地鎮祭の間、子どもたちは新



施設の完成予想図を見て夢を膨らませながらグラウンドを見つめていました。

〈済生記者 鈴木一大〉

〈山形〉特養やまのべ荘 少し遅めの夏祭り

9月2日に当施設でちよつと遅めの夏祭りを開催しました。

に現場を紹介する「野江病院オリジナル動画」(約20分)を作成・提供しました。「テレビのドキュメンタリー番組みたい！」と職員にも大好評な動画は、大学が8月から学生に公開。それを見て当院に興味を持った学生たちと、親睦を深めるためにZoomセッションを開催したのです。

相原部長はオンラインでチーム医療などの講義や質疑応答を行ない、学生たちと約1時間にわたり活発に交流しました。

〈済生記者 坂本千晶〉

〈山形〉はやぶさ保育園

みんなで作ったじゃがいもおいしいね！

8月中旬、園庭の畑でじゃがいもを収穫しました。春に植えた苗が育ち、ゴロゴロとたくさんじゃがいもが実っていました。

3歳児クラス24人は、収穫したじゃがいもを使って、ポテト餅作りに挑戦！初めてのクッキングをうれしそうにエプロンを付けて準備をしていました。4〜5人のグループに分かれて調理を開始。蒸かした芋をマッシャーでつ



ぶして片栗粉と塩を入れました。ボウルを押さえる係や混ぜる係の中には、「頑張れ！」と応援を始める姿などグループでの絆が深まる一面も見られました。混ぜた後は型作り。「ハート型にしよう」などとそれぞれ好きな形を手で丁寧に作りました。後は調理室で焼いて、おやつで食べました。「これは自分たちが作ったものだ」と、みんな残さず食べていました。

翌日、「お休みの日にお母さんと作るんだ」と話す姿もあり、週末の楽しみが増えたクッキングになりました。

〈済生記者 峯田美咲〉

奈良病院  
待望のファミマが新規開店

院内にコンビニのファミリマートが、9月11日に新規開店しました。

開院当初からの売店兼食堂が8月末で撤退。後継店舗について何社もの業者と交渉を重ね、ようやくファミリマートとの契約がまとまりました。同社の出店基準は400床



以上の病院。しかし、患者サービス向上の観点で交渉を進めた結果、194床の当院の近隣にある既存店舗のサテライト店として出店してもらえることになりました。ファミリマート社内でも新しい取り組みとして注目されています。

従来の売店は売り上げ減少に伴ってたびたび営業時間が短縮され、患者さんの利便性が低下していました。今後は品ぞろえもサービスも大幅に拡充し、患者さんへのサービ

スや職員の福利厚生改善が図れると期待しています。

(済生記者 川向 透)

〈山形〉特養愛日荘

総合防災訓練

8月19日に総合防災訓練を行いました。コロナ禍のため、地域の防災協力員等は参加せず実施。職員・入居者さん合わせて30人程が参加しました。

阿部久施設長の挨拶に続いて、大泉克仁管理課長が訓練の概要を説明しました。

午前10時25分に震度6弱の直下型地震が発生したという想定で、地震によるけが人の対応と火災による消火活動と入居者さんを避難誘導する訓練を行いました。職員の初動体制や役割防災機器の使い方確認等を行ない、負傷者を二階から一階へ階段でタンカを使用し「いち・に・いち・に」と息を合わせながら搬送しました。

訓練後の振り返りでは「担架に乗ったが不安な振動がなく優しい声掛けがあり安心した」「一人を運ぶのに随分時間を要した。90人全員は大変だ」等の感想がありました。真摯に取り組



み、防災・減災に努めます。

(済生記者 高橋 睦)

大阪整肢学院

学院内でマクドナルド体験

新型コロナウイルスの影響で整肢学院でも外出行事の自粛が続いています。そこで、職員で子どもたちのために何かできないかと考え、8月1日に学院内マクドナルド体験を開催しました。

学院内の受付窓口をマクドナルドの注文カウンターのように飾り付け、事前にマクドナルドの商品を用意。看護長と看護師長が店員に扮し、子どもたちは模擬紙幣を使って買い物体験を



楽しみました。子どもたちの中には自分で買いたい物ができる子もできない子もいますが、今回は模擬店舗。全員の子もが参加しました。注文カウンターに立った子どもたちはやや緊張した面持ちで、商品を注文。中には「0円スマイルください」とはにかんで注文する子もいました。子どもたち

は商品を受け取り、普段食べられないハンバーガーをおいしそうに楽しそうに食べていました。店員役を担当した看護師長は、「この体験を通じて少しでも社

会経験を積んでもらえたらうれしい。同様の企画を考えていきたい」と話していました。

(済生記者 久原市子)

〈鹿児島〉川内病院

当院職員が「親善大使」に!

川内病院・事務職員の養母業宏さんが7月18日、薩摩川内市

観光物産協会主催の「第8代薩摩川内親善大使」に選ばれました。主な任務は市の観光PRで、任期は2年。これから薩摩川内市の様々なイベントに出向き、PR活動を行なう予定です。養母さんは健診センターで受診者の対応に当たっています。普段から明るく笑顔が絶えず、受診者の緊張をほぐしてくれま

(済生記者 竹之内美和)

〈兵庫〉小規模特別養護老人ホームなどでしこ神戸バーベキューと花火

なでしこ神戸では、8月29日の「やきにくの日」に近隣の有名な精肉店でお肉を購入し、テラスで炭をおこしバーベキューを開催、入居者さん29人と職員10人が参加しました。

日頃は小食な入居者さんもやわらかいお肉のためか、食が進み、他の入居者さんからも「おいしかった」「食べ過ぎた」等と好評の声がかれました。

夕方にはなでしこ神戸では恒例となっている花火大会を開催。例年は地域の方々も参加していま



との声が聞かれました。

朝から夜まで入居者さんには忙しい一日でしたが、翌朝には「よく寝られた」と喜んでいました。新型コロナウイルスの影響で生活に制限がある毎日ですが、少しでも気晴らしになったのではないかと思います。

(介護課長 柳川瀬洋志)

# topics



シヨン環境を紹介します。  
当施設では従来から施設入所者と、外来利用者（発達障害者、肢体不自由、重症心身障害等）のリハビリテーションをしています。移動に伴い従前のPT室・OT室と、行事などで使用した訓練棟を合併「リハビリテーションホール」となり、他にも個室やスヌーズレン室など様々な環境を用意できました。スヌーズレン室とは、様々な感覚刺激を利用者さんが感じ取りやすいように提供、気づき、リラクゼーション、空間の共有などを楽しめる空間です。  
リハビリテーションホールの目玉は、ステンドグラスの窓、行事に活用できるステージや音響設備、利用者さんを移乗するリフト、遊具が吊るせる格子状の吊り具、大きな空間を仕切るスライディングウォールなどです。空間を必要に応じて仕切り、行事会場とリハ空間を分けることもでき、利用者さんとの劇の公演や、学校行事にも活用できます。利用者さんと一緒に楽しむ時間になればと思います。

（済生記者 齋藤諒介）



**ユニット祭り みんな大好きどんどん焼き**  
8月19日さくら・すずらんユニットでユニット祭りが行なわれました。  
今年、施設の夏祭りが自粛されたためユニットが工夫をしまして、夏祭りのな雰囲気づくりをしました。コンセプトは「山形名物で楽しむ」です。  
山形県産のスイカとソウルフードのどんどん焼きを用意しました。ユニットの男性職員が中心になり作るどんどん焼きは、鉄板焼きの実演もあったため大変喜ばれました。地元山形ではお祭りやイベントで、必ず目にする鉄板メニューの一つです。

（山形）特養愛日荘



## 〈愛媛〉松山病院 なでしこ一座、大活躍

9月15日、松山市交流センターで包括支援センター三津浜主催の家族介護教室を開催し、約80人が参加。当院の宮岡弘明院長が新型コロナウイルスと糖尿病について講演しました。  
新型コロナウイルスの感染経路や予防のポイントについて、また糖尿病はどんな病気か、合併症の恐ろしさ、糖尿病予防のための食事の仕方・運動の重要性等ジョークを交えてとても分かり易く説明し、笑いも起こるなど、楽しい講演会でした。  
その後、宮岡院長と看護師2人で構成された「なでしこ一座」が南海トラフ地震が起きた設定で「災害時の備え」についての



劇を披露しました。

スカートに金髪アフロヘア姿で登場した宮岡院長が笑いを誘いつつ、避難所に常備薬を持っていくことの大切さや、百円シヨップでそろえることができる災害対策グッズを紹介。講演会終了後、百円シヨップに寄って帰るといふ方もいて、とても有意義な劇になりました。

（済生記者 木本薫子）

〈北海道〉みどりの里

## 新しい環境での暮らしがスタート

みどりの里は9月1日に、小樽市築港地区に新築移転しました。

正面玄関を入ってまず目に入るのは、利用者さんの作品「ふるさと千歳の鮭」です。2階廊下にはタイトル制作活動でつくった作品も飾ってあります。生活スペースは3階から5階にあり、それぞれ「ひかりのフロア」「きずなのフロア」「つばさのフロア」という名前があり、少人数の個室が基本です。食事や活動の場として広いデイルームも設けられ、デイルームに続く廊下の装飾や、居室の間にある



る車椅子置場のマークは、利用者さんが製作したものです。屋上からは海と山の景観を楽しむこともできます。コロナ禍で今年は中止になりましたが、毎年恒例の「潮まつり」の花火を見るにも絶好のスポットです。施設を出ると、徒歩圏内には大型商業施設やコンビニ、JRの駅があります。今は気軽な外

（済生記者 齋藤諒介）

みどりの里

## 新リハビリホールとスヌーズレン室のご紹介

新みどりの里のリハビリテ-

本摂食嚥下障害看護認定看護師が誤嚥性肺炎予防のための多職種チーム医療を紹介。腎臓内科の上野医師と塩濱管理栄養士が慢性腎臓病の教育入院の成果や腎臓にやさしい食事を紹介しました。セッション「最近の取り組み」では、消化器内科・吉田



医師が「超音波内視鏡を用いた診断と治療」、循環器内科・横江医師が「心不全と心房細動アブレーション」を紹介しました。最後に乙訓医師会長から「コロナ禍で講演会が次々と中止になるなか、最新の医療トピックスを知ることができ、病診連携のよい機会となった」とご挨拶いただきました。

（企画広報室長 松岡志穂）

## ウェビナーで約290人参加、医療連携フォーラム

乙訓地域のよりよい医療連携を目的に9月24日、当院講堂にて、第一回京乙訓医療連携フォーラムが開催されました。

連携医療機関と当院の医師が座長を務め、当院の医師らが登壇。今回は、当院講堂とWeb配信（ウェビナー）の同時開催で約20人が来場、ウェビナーに約290人が参加しました。

当院の吉田憲正院長の挨拶と基調講演「エロピキシパットを用いた便秘治療」に続き、セッション「内科のチーム医療」では、呼吸器内科・古谷医師と土

（介護職員 大場陽子）

京都府病院

〈愛媛〉松山乳児保育園  
全身で描いたよ!



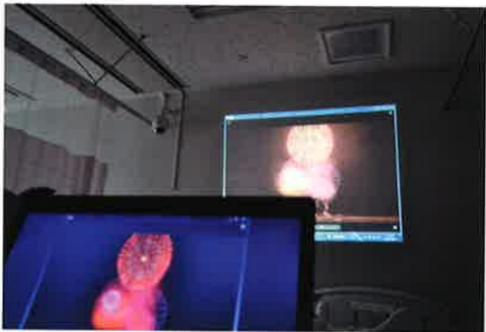
2歳児クラスの15人が9月初旬、絵の具で遊びました。園内のホールに長い紙を並べて貼り、赤・黄・青・白・黒の5色の絵の具の好きな色をバケツに入れ、筆や刷毛で描きます。少しすると、自分の手足に塗ったり、バケツをひっくり返して絵の具を流したり、友だちの絵の具と混ぜて色を変えたり、顔に塗ったり……と自由ないろいろな遊びが始まりました。手足で塗り広げながら寝転んだり滑ったりするスケールの大きい運動的な遊び感覚も出てくるなど、園児は心が解放されて存分に楽しめたようです。

絵の具を触るのが苦手だった子も、この夏に何度も全身絵の具まみれを体験したことで笑顔があふれ、満足した様子になりました。これからも自分の

心を自由に表現する機会を大切にしていきたいです。

(済生記者 乗松恵理子)

〈鳥取〉境港総合病院  
病室で花火鑑賞



8月27日と31日に療養病棟で花火鑑賞会を行いました。今年は地元・境港市の「みな

と祭」が、コロナ禍で中止。病棟の談話室から見える花火を楽しみにしていた患者さんに夏を感じてもらおうと、動画による花火鑑賞会を企画。感染対策で密集を避けるため、居室ごとに映して回りました。夕食をすませ日が暮れた19時

ごろ、居室の白壁にパソコンで花火動画を上映。スピーカーを持ち込み、臨場感を高める音の演出も工夫しました。次々と打ち上る彩り豊かな花火に、手をたたく喜びや、穏やかな表情でじっと見つめたり、終わった後に思い出話をされたり……さまざまに楽しんでいただけました。

(介護福祉士 足立邦彦)

〈茨城〉龍ヶ崎済生会病院  
若手職員13人が交流会

医療技術部・薬剤部の入職1〜3年目の職員13人が8月20日、当院済生会ホールで交流会を行いました。

コロナ禍の今年は、新入職員の歓迎会が中止。そこで、他部署の若手職員同士の交流を深めようと、ソーシャルディスタンスに配慮して開催しました。

まずは順番に自己紹介。自身の業務や趣味、業務上困っていることなどについて語り合いました。特に、共通の趣味の話が大いに盛り上がりました。3年



目の先輩からは、業務で困ったときの対処法や体調管理についての助言もあり、有意義な時間となりました。参加者からは「他部署の若手と交流できて楽しかった」「自

分の担当外の業務を知ることができて良かった」などの感想が聞かれました。

(済生記者 丸山健太)

オンラインで  
66人がインターンシップ

福岡総合病院

当院看護部では2022年新卒者向けインターンシップ(体験型職場見学)を8月24・25・28・31日の4回開催し、延べ66人が参加しました。

コロナ禍の今年は、現場体験は中止し、説明会はオンラインで。病院概要や教育体制をスライドで説明し、手術部・病棟などに勤務する看護師の紹介動画を見てもらった後、看護師との意見交換を実施。「新人のとき



京都府医大が  
塩見医師を表彰

滋賀県病院

9月13日に開催された、第38回京都府立医科大学関係病院等協議会総会で、当院救命救急センター長兼救急集中治療科主任部長の塩見直人医師が、第32回京都府立医科大学関係病院等協議会地域医療貢献賞を受賞しました。

この賞は京都府立医科大学の関係病院として、地域医療に長年貢献した人を表彰するものです。塩見医師は、当院に着任後救急科を創設。トリアージシス



テムの導入や、ドクターカーの運行、京滋ドクターヘリの運航に携わり、滋賀県湖南医療圏において救急医療体制を整備した点が評価されました。

塩見医師からは「ご推薦いただいた三木恒治院長先生をはじめ、ご指導ご支援いただきました多くの方々に感謝申し上げます」とコメントがありました。

(済生記者 西澤真由美)

〈兵庫〉特養ふじの里  
ごちそうと花火で夏祭り

ふじの里西館では毎年夏祭りを開催していますが、今年は感染対策のため、館内で開催し、入居者さん約50人と職員10人が参加しました。



動画を流し夏祭りの雰囲気を感じてもらおう工夫をし、食事は入居者さんのリクエストに応え、重々とした焼き物を用意しました。職員も朝から調理で大慌て。入居者さんからは「こんな大きなうなぎは初めてや」という重々を見てびっくりしたり、花火の映像を見て「ほんまの花火かと思っただわ」と喜ばれ、夏祭りは大いに盛り上がりました。従来のような催しができず不安でしたが、入居者さん、職員の笑顔を見て今年も夏祭りを開催してよかったと心から感じることができました。

(生活相談員 大上優介)

# 載々

済生会の職員が寄稿した記事が、掲載された雑誌等を紹介します

## 院内の情報共有を評価する

京都府病院

松岡企画広報室長

産労総合研究所発行の「病院羅針盤」2020年9月15日号の「病院と地域をつなぐ「病院広報」」に筆者が取り組んでいる研究について「情報共有ができていますか？ 情報共有を評価する」と題した記事が掲載されたので紹介する。

組織における「情報共有」の重要性は既知の事実だが、情報共有ができていないかを確認することはなかなか難しい。円滑な情報共有は組織風土や職員のモチベーション、ひいては経営にも影響するのではという観点から「情報共有」の評価に取り組んでいる。

記事では、情報共有アンケートの実施、その結果と分析からみえたこと、情報共有ができていない人とそうでない人の差を紹介。そのうえで円滑な情報共有を実現するために「広報」ができることについて述べた。ぜひ一読いただきたい。

(企画広報室長 松岡志穂)



## 大雑報

身の回りで起きた、さまざまなことを楽しく報告するコーナーです。職場の話でも、家庭の話でも、休日の話でも。ご紹介ください

### 「口福にっぽん」で癒やされています

地域連携室では職員が昼休みの癒やしを求めて、月に一度ほどスイーツをお取り寄せ。甘いものに目がない私ももちろん参加しています。

8月は、本誌8月号「口福にっぽん」で紹介されていた「秩父プリン」を

取り寄せました。毎月「済生」が届くと、真っ先に「口福にっぽん」を見る職員もいます。

今回注文したのは9個入り。味は、楓・苺・藍苺・柚子・芋・巨峰の6種類です。一晩冷やすと適度に固まり、プリンというよりはムースやバ

### NEW STYLE KYOTO—制服廃止

京都府病院では、9月1日から女性事務職員の制服を廃止し、男性事務職員と併せて服装の自由化をしました。事務課長会議での協議を経て、制服廃止に至った主な理由は、女性事務職員の画一的イメージの払拭、コスト削減です。



最初は女性の制服を廃止するだけの話でしたが、男性のスーツ・ネクタイという不文律も撤廃することになりました。これには、男女間の格差解消、多様性（年齢・性別・国籍・個性）への対応、新しい事務職員像の確立など多くの意図が含まれます。

「新しい建物だけでは「済生会京都府病院の再生」はなく、新しい人心（自律と自立）を確立することがマストです。そのため、恥ずかしながら若い職員の引き立て役になりました」との森田真央院長補佐（左から2人目）の言葉のとおり、病院の移転新築に向けて事務職員の「自立と自律」への意識付けになることを期待しています。

(京都府病院)

企画広報室長 松岡志穂

### 被災地から紙風鈴

東日本大震災の被災地・岩手県陸前高田市の済生会陸前高田診療所から紙風鈴と義援金が送られてきました。令和2年7月豪雨で被害を受けた当院へのお見舞いと激励です。

診療所の患者さんやスタッフ、そのご家族、友人の皆さんたちが作られたもので、一つひとつの紙風鈴にはメッセージを書いた短冊が下がっていました。「大変なご苦労と疲弊が重なって

バロアに近い食感! 記事のとおり、丁寧に作られた上品な口当たりで、素材を生かした濃厚な風味がしっかりと伝わってきて、おいしかった!! 早く「別の味も食べてみたい」。次は10月に注文を予定しています。



(山口地域ケアセンター)

総合企画課 緒方史朗

感謝感激雨霰(本当にありがとう) ございますの意味です) 吉井省一

### 心むむ氏家さんの花壇

当院の花壇には、年中きれいな花々が咲いています。春はナデシコ・パンジー、夏はダリア、秋にはキバナコスモス、冬はボタンなど……。手入れをしてくださっているのは、川俣町シルバー人材センターの



氏家重光さんです。毎日の水やりから草むしり。氏家さんの管理の仕方には感心させられます。花への大きな愛情も感じさせられます。

「新型コロナウイルスの流行で患者さんも、病院スタッフのみなさんも大変だと思いますが、花壇の花々を見て少しでも心を和ませてもらえ

ばうれしいです」と氏家さん。

診察を終えた患者さんがベンチに腰掛け、花を見ながら家族のお迎えを待っている光景を目にします。職員も通勤時に心を和ませていきます。

新型コロナウイルスの流行が落ち着き、また違った気持ちで花々を見られる日が来ることをみんな願っています。

(福島・川俣病院)

済生記者 伊藤和代

### 次号予告

済生 No.1097 [令和2年11月号]

済生会の不易流行論 (146) 炭谷 茂

NEWSな済生人 福井県済生会病院 清水良憲 西本昌晃

この人 満島真之介 鈴鹿央士

済生会交差点 口福にっぽん (38) 彩り季節のおはぎ (大分県大分市)

てづくりおもちゃ いまいみさ

### 広告索引

キリンビバレッジ(株) 表紙見返し [表紙 2]

アクサ生命保険(株) 富国生命保険(相) 日本生命保険(相) 第一生命保険(株) 大樹生命保険(株) 明治安田生命保険(相) 裏表紙 [表紙 4]



# Nursing now

[https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing\\_now/nncj/](https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/)

## 済生会の看護力が地域をつくる

### 看護職にフォーカス——Nursing nowキャンペーン展開中

2020年はナイチンゲールが誕生して200年。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、看護職が持つ可能性をさらに広げる世界的キャンペーンを繰り広げています。済生会の看護職も、地域をさらに健康にするため、医療機関の枠を越え福祉を支える活動へと踏み出しています。

#### 娘と野球観戦、カみなぎる

昨年度のTQM大会優秀賞の副賞でいただいたホークス観戦チケットで9月5日、娘と一緒に数年ぶりに野球観戦に行きました。コロナの影響で卒業式も短縮、入学式はなく、夏休みもどこへも行けなかったので、スポーツ観戦が大好きな娘は大喜びでした。



ドームでは個人情報登録や人数制限など、感染対策もきちんとされています。試合が始まると選手のかげ声、ボールの音がはっきりと聞こえ、この時期だからこそ観戦環境に新鮮な気持ちになり、臨場感に気持ちも高まりました。結果は負けでしたが、記憶に残る試合でした。先の見えないコロナ感染症と闘うための活力を

もらうことができました！

明日からもがんばるぞ！！

（福岡・飯塚嘉穂病院

栄養部 瀧上実樹）

#### 夏の終わりに、映え寺へ

8月30日に福岡県篠栗町にある篠栗四国八十八ヶ所霊所の第61番札所・山王寺に行ってきました。ここは毎年6～9月に色鮮やかなたぐさんの風鈴が飾られます。最近SNSでも注目されているインスタ映え・フォトジェニックスポットです。風が吹く度に優しい音色に包まれ、涼しさも感じ、とても癒やされました。

住職さんもとっても気さくな方で、たぬきの置物もところどころに



あり、子どもから大人までおすすめのお寺です。近くにお越しの際は、ぜひ寄ってみてください！

（福岡・飯塚嘉穂病院

済生記者 松岡亜希）



## 済生会

明治44年2月

11日、明治天皇

は、時の総理大

臣桂太郎を召さ

れて「恵まれない人々のために施療救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えてお手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財団法人済生会を創立した。

以来今日まで109年、社会経済情勢の変化に伴い、存続の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施療救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人財団法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下

会長 有馬朗人

理事長 炭谷 茂

本部 2 東京 支部 40 都道府県

病院 82

診療所 18

介護医療院 1

介護老人保健施設 29

救護施設 1

児童福祉施設 25

老人福祉施設 121

障害者福祉施設 8

看護師養成施設 7

訪問看護ステーション 60

地域包括支援センター 29

地域生活定着支援センター 5

その他 9

合計 395（数字は令和元年度）

さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の62島の診療活動に携わっている。

職員数は全国で約6万3000人。

## 済生

【令和2年10月号】

THE NEWSLETTER of  
Social Welfare Organization  
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和2年10月10日発行

通巻第1096号（第96巻第10号）

編集兼  
発行人 炭谷 茂

発行所 社会福祉法人財団法人済生会

〒108-0073

東京都港区三田1-4-28

三田国際ビルディング21階

TEL: 03-3454-3311 (代)

FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋

東京都中央区八丁堀4-4-1

©社会福祉法人財団法人済生会

# 済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、  
個人保険に比べて  
割安な保険料で  
大きな死亡保障を!!

## グループ保険

〔災害割増特約・子ども特約・  
子ども災害割増特約付福祉団体定期保険〕

(本人・配偶者・子ども対象)

診査がなく(告知のみ)  
手続きが簡単なうえ、  
剰余金があれば  
契約者配当金が戻ります。



## ① 終身医療保障プラン

〔手術給付特約・手術補完給付特約・  
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担  
保特約(入院保障保険(終身型 09)用)付  
入院保障保険(終身型 09) (60日型)〕

## ② 医療保障プラン

〔高度先進医療給付特約・特定疾患給付  
特約付医療給付金付個人定期保険〕

## ③ 総合医療あんしんプラン

〔総合医療保険(団体型)〕

(本人・配偶者・子ども対象)

3つの保険より、  
選択できます。



第二の人生を  
充実させるために  
今からご準備を!!

## ゆうゆうライフプラン

〔拠出型企業年金保険、  
医療給付金付個人定期保険〕

(本人のみ対象)



**令和3年度 済生会グループ保険は、  
令和3年1月1日保障開始となります。  
(保険料は令和2年12月の給与からの控除開始です。)**



※このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社〕

**アクサ生命保険株式会社** [事務幹事会社]  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社  
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社  
明治安田生命保険相互会社

〔医療保険引受保険会社〕

**アクサ生命保険株式会社** (終身医療保障プラン・医療保障プラン)  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

**日本生命保険相互会社** (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター  
電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取り扱いしておりません)】

〔グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プランお問合せ先〕

**アクサ生命保険株式会社 制度推進部**

【照会先】法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

お問合せダイヤル 0120-200-971(無料) (受付時間 平日9:00～17:00)

〔総合医療あんしんプラン担当営業部〕

**日本生命保険相互会社 公務第一部**

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(7.6) AXA-A1-1903-0342/9F7 2020.08.24(2020.08更新)